

今日の課題

大きな地震がきても生活が困らないように、ガスを供給している事業はどのような備えをしているのだろうか。



道路や鉄道が使えなくなる
家がこわされる
↓
水道の水や電気が来なくなる
電気・ガスが止まる
ふろ、トイレ、テレビなど
生活に困る

〈施設・設備の備え〉

① ガス管

ポリエチレン化
→ やわらかいと地震に強い

② ガスメーター

震度5強以上のとき、ガスが自動で止まる
→ ガスもれを防ぐため、止めなくてもよい

〈予想〉

・ じょうぶな施設を作っているのではないかと。

・ 火事での備えと同じように、いつでも出動できるようにしているのだから。

〈まとめ〉

大きな地震に備えて
ガス会社は、施設や設備を工夫してつくっている。また働いている人も日ごろから訓練したり、全国の会社と協力体制をつくらせている。

〈人の働きの備え〉

① 24時間体制で備えている

② 訓練の様子

・ 防災訓練 → 自治体の訓練に参加
・ 地震の発生を想定した防災会議
・ 復旧のための訓練

③ 地震発生に備えた応援体制

・ 全国のガス会社がかけつける
→ 協力体制がとられている